

# 行政評価（外部評価）結果総括表

<平成28年度実施計画分>

平成29年8月

## 行政評価（外部評価）結果総括表（平成28年度実施計画）

### 第1節 「集まる」まちをつくる（ひとづくり）

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
未来を担うひとづくり (1-1)	概ね順調	人口減少社会の中で魅力ある町を創造し、定住や交流を促進していくためには、「ひとづくり」は重要な課題である。継続事業によるマンネリ化や町民参画の固定化も見受けられ、総花的でなく特徴ある将来を見据えた取り組みとともに、優先する事業の絞り込み、焦点化を図りながら、若者だけでなく子どもたちがまちづくりに協力し参画できる仕組みや広く町民が共感し参画できる機会を創出することが必要である。	まちづくりを支える人材の育成	81.3	少子・高齢化が加速するなか、まちづくりを支える人材の育成は重要な課題である。事業の優先度や目的を明確化し、事業内容のブラッシュアップや情報発信を強化するとともに、事業実施後において継続的にフォローアップを行い、成果の見える取り組みを進められたい。地域おこし協力隊については、事業目的や効果を再整理し、まちづくりや定住に結びつく仕組みづくりが必要である。
			人をつなげる交流の促進	75.0	多くの町民が共感、参加し、町民の盛り上がりを促す交流機会への展開、工夫が必要である。特に、森のマルシェの施設機能を活かし、交流自治体のPRやまちづくりの情報発信を積極的に行うなど、情報交流の拠点施設として有益な施設の利活用を図られたい。
			心を豊かにする学びの創造	75.0	価値観やライフスタイルが多様化するなかで、仲間づくりや豊かな心を育む学習の機会は不可欠である。各年代層やライフスタイル、地域の資源や人材を生かしたプログラムの充実を図るとともに、町民が集い交流の拡大につながる取り組みを進められたい。
女性が輝く社会づくり (1-2)	やや課題あり	男女共同参画社会の構築には、家庭、職場、地域において、あらゆる機会を捉えて広報・啓発活動を継続していくことが必要である。予算措置の充実に努め、幅広い世代の女性が参画し、女性が女性をリードする仕組み、女性目線での活動を促進する環境づくりを進められたい。	男女共同参画意識の醸成	75.0	成果指標となる講座参加者が少なく、参加しやすいプログラムと情報発信が課題である。男女共同参画意識については、家庭、職場、地域それぞれにおいて、固定的な概念や役割分担意識を解消していくことが求められ、各地区での講座や企業等への情報提供等、機会を捉えて継続的に啓発活動を進められたい。
			女性の能力が発揮しやすい環境の整備	81.3	女性の活躍、経済活動を支援するための女性農業者支援制度は、認定のみの実績であり、今後の制度活用に期待したい。女性未来委員会については、企画運営を主体的に担う中で、活動内容の精査、充実とともに、会員相互のネットワークやリーダー等の人材育成につながる支援、仕組みづくりを進められたい。
			女性が安心して暮らせる環境の整備	75.0	関係機関と連携した虐待、DVの相談・支援体制は評価できるが、高齢者虐待の増加など女性施策への位置づけは適切とは言えない。女性が安心して暮らせる環境づくりとして、子育て支援を含めた施策構成の整理が必要である。

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
生涯現役で生活できる健康元気づくり (1-4)	概ね順調	高齢者が心身ともに健康に生活していくための心身の健康づくりや介護予防及び介護事業、検診や健康相談などを通して、政策は概ね順調に推進されている。継続して取り組まれない。一方で高齢化社会の進行により、相談内容の多様化、老老介護世帯の増加、免許返納者の増加などが予想され、より専門的で包括的な支援が求められる。支援制度の周知と実態の把握に努め、十分な支援体制を確保されたい。	心と体の健康づくりの推進	81.3	計画に基づき順調に進められている。生涯スポーツ推進や青少年層の競技意欲向上への取り組みは順調に推進されているが、新たに整備されるパークゴルフ場の有効活用や関係団体との連携を図りながら、高齢者の健康づくりを更に推進されたい。検診や健康相談、心の健康づくりについては、今後も継続して取り組まれない。
			地域医療の充実	-	-
			地域福祉の推進	-	-
			高齢者福祉の充実	75.0	概ね順調に進められているが、超高齢化社会を迎え、相談内容の多様化、老老介護世帯の増加、免許返納者対策、福祉輸送サービスの充実は喫緊の課題であり、より専門的で包括的な支援が求められている。高齢者に関わる支援制度の周知を図っていくとともに、専門的知識を有する人材の確保や育成を図り、なお一層充実した支援策を検討されたい。また、地区単位での取り組みに対して、更なる支援と参加しやすい環境づくりを検討されたい。
			障がい者（児）福祉の充実	-	-

## 第2節 「楽しい」まちをつくる(ちいきづくり)

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
快適で住みよい環境づくり (2-2)	概ね順調	住宅整備にかかる補助制度は、定住促進として一定の成果が見られるものの、空き家の利活用を含めてより住環境施策の拡大や見直しに努められたい。急速に進む少子・高齢化社会の中で、環境保全や除排雪等で地域住民主体の対応が不可欠である。町民が流出しないための生活環境の確保を最優先の課題と捉え、特に、除排雪対策は、地域で支える仕組みづくりの構築を進められたい。	多様な住宅環境の整備	87.5	住宅環境の整備、補助制度は若者の定住や町外流出の歯止めとして一定の成果がみられ、需要に応じた予算の確保に努められたい。また、地域住民や企業と連携し、空き家の解消、解体や利活用の促進等、住環境施策の改善、充実を図られたい。
			総合的な雪対策の充実	93.8	雪対策は定住人口の拡大、安定的な生活環境の確保として重要な施策である。計画的な除雪機械の更新やオペレーターの育成により、生活道路の一定程度の除排雪は図られている。地域一斉除排雪や除雪アダプトの制度導入が図られているが、急速な少子・高齢化社会に対応し、間口除雪などの地域で支える除排雪の仕組み、体制づくりを進めていく必要がある。
			豊かな自然環境の保全	-	-
			暮らしを支えるインフラの整備	-	-
時代に応じた都市機能づくり (2-3)	やや課題あり	公立置賜総合病院を中心としたメディカルタウン構想については、周辺住民のみならず町民の期待も大きいことから、他に例のないまちづくりを展開されたい。中心市街地の活性化に関する取り組みについては、抱える課題も多いため、大胆な発想や新しいアプローチが必要である。政策の方向性が、町民が求める方向に進んでいるのか十分に協議、検証を行っていくとともに、時代に応じたまちづくりが、町民、事業者、行政などが一体となった取り組みのもと推進されることを期待したい。	医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進	81.3	公立置賜総合病院を中心としたメディカルタウン構想については、町民の期待も大きく、既存の住宅・商業地域の再整備も含めた一体的な整備が望まれる。各計画との整合性も取れており、施策の進捗状況も順調であると評価するが、町民のニーズ把握や効果的な情報発信に努め、定住人口の増加、生涯活躍のまち実現のため、スピード感を持った事業推進に期待したい。
			中心市街地の活性化	62.5	中心市街地の活性化については、担い手の育成や収益の向上、事業者をはじめとした住民の気運醸成を図っていくことが課題であり、町民ニーズの把握、事業者同士や行政との連携、支援に努め、商品力やサービスの向上に繋げていかれたい。また、マンネリ化傾向にあるイベントの在り方について、抜本的に考え方を新たにし、集客拡大やリピート客の獲得など、交流人口の拡大に結び付けていくため、目玉企画の案出やイベントの再構築、会場を変えての開催(巡回朝市)など、大胆な発想力とアイディアを持って事業企画及び関係団体への支援を図られたい。全般的にイベントのPR不足が感じられるため、ターゲットを明確にし効果的なPR手法について研究されたい。

### 第3節 「挑戦する」まちをつくる（しごとづくり）

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
多様な仕事を生み出す戦略づくり (3-3)	やや課題あり	<p>企業誘致が実現したことは大きな成果であるが、誘致実現に至った要因を分析、検証し、更なる企業誘致実現と雇用の創出に結びつけられるよう継続して取り組まれない。置賜農業高等学校が、より魅力ある学校として存続していくための支援や連携体制を確保していくとともに、地元でのインターンシップや民間の講師などを活用し、仕事をする意義や地元で活躍したいといった意識の醸成を図るなど、勤労教育の充実について検討されたい。同時に雇用創出と若い起業者の育成やサポートを充実するなど、教育から就労まで切れ目のない支援を継続することにより、産業の振興と若者の定着や移住、定住に繋がりたい。</p>	企業誘致の促進	68.8	平成28年度においては、1社の誘致が実現し、雇用創出が図られたことは評価できる。今後は川西町の特徴や東北中央道の開通などの強みを企業誘致に十分活かしていくとともに、企業側の懸念材料となる輸送コストや雪の問題などへの対策を検討しながら、様々な業種や規模の企業への積極的な誘致活動を展開し、更なる企業誘致実現と雇用の創出に期待したい。また、川西町のPRを図るため、誘致企業とのコラボ商品の開発ができないかといった視点も持ちながら、企業誘致活動を展開されたい。
			起業者の発掘・育成	75.0	起業者の発掘・育成にあたり、起業のきっかけに繋がる効果的な情報の発信や意識醸成を図っていく必要がある。また、創業資金支援に関する十分な財源確保と、創業後の安定経営に向けた支援策を検討されたい。
			産学官金労言連携の促進	75.0	置賜農業高等学校との連携については、早期に連携会議を開催し方向性を明確にしながら、更に魅力ある学校づくりが展開されることを期待したい。創業支援事業については、関連施策や関係機関との連携を十分に図りながら、財源確保と安定経営に向けた支援策を検討されたい。
			再生可能エネルギーの活用	68.8	今後とも再生可能エネルギーの調査や情報収集に努め、エネルギー施策における方向性や具体性を持った取り組みを実施されたい。